中国語における直示時点の空間把握

木村英樹

- 1. はじめに
- (1) 下午两点中他来接 我 了。午後2 CLF鐘彼来る 迎える 私 SFP[変化の既実現](午後2 時に彼が私を迎えに来た。)

▲ CLF:類別詞、助数詞、"量词"

SFP: 文末助詞

- (2) a. 两个月(二ケ月) 两天(二日間)b. 二月二号(2月2日)
- ※ 基数の「2」:两 序数の「2」:二
- (3) 下午 <u>两 点 多 钟</u> 他 来 接 我 了。 午後 2 CLF 余り 鐘 彼 来る 迎える 私 SFP[変化の既実現] (午後 2 時過ぎに彼は私を迎えに来た。)
- (4) 八 里 **多** 路 8 CLF 余り 道のり (8里余りの道のり) [●] "一里" = **500** m
- (5) 三 个 **多** 月 3 CLF 余り 月 (三ヶ月余り)
- (6)早上上午中午下午晩上あさ午前昼時午後よる
- 2. 中国語の「時間詞」
- 2.1 「時間詞」の機能
 - ・意味機能:出来事の生起する〈時点〉を表す。
 - ・文法機能:連用修飾機能および文修飾機能を備え、かつ連体修飾機能を備える。
- (7) 你 <u>刚才</u> 去 哪儿 了? あなた さっき 行く どこ SFP[変化の既実現] (あなたはさっきどこに行ったの?)
- (8) <u>刚才</u> 你 去 哪儿 了? さっき あなた 行く どこ SFP[変化の既実現] (さっきはあなたどこに行ったの?)
- (9) 对 <u>刚才</u> 的 表演, 你 有 什么 意见 呢? ~に対して さっき ~の 演技 あなた もつ どんな 意見 SFP[疑念] (さっきの演技について、あなたはどのような意見をお持ちでしょうか?)

- 2.2 直示的(deictic)時間詞と非直示的(non-deictic)時間詞
 - 直示的時間詞:専ら発話者の〈いま〉を基点にして、出来事の生起する〈時点〉 を示す時間詞。

e.g., "现在(いま)、刚才(さっき)、前天(おととい)、明天(あした)、 最近(ちかごろ)、今后(今後)、从前(以前)、……"

非直示的時間詞:発話者の〈いま〉を基点とはせずに、出来事の生起する〈時点〉 を示すことのできる時間詞。

> e.g., 早上(あさ)、三点(3時)、25号(25日)、星期一(月曜日)、 第二天(翌日)、后来(その後)、以前(あるとき以前)……"

- 3. 直示的時間詞(句)の空間把握
- 3.1 【横軸系】について
- 3.1.1 【横軸系】直示的時間詞一覧



- I. 将来 今后
 现在/这会儿/目前
 刚才 最近 那会儿
 从前……

 将来 今後
 いま さっき 最近 あのとき 以前/むかし
- II. 大后天 后天 明天 今天 昨天 $\acute{ extbf{n}}$ 天 $\acute{ extbf{th}}$ 大 $\acute{ extbf{n}}$ 大 $\acute{ extbf{th}}$ $\acute{$
- Ⅲ. 大后年 后年 明年 今年 去年 前年 大前年 再来年の翌年 再来年 来年 ことし 去年 おととし さきおととし

●"未来"≠時間詞

- ・工作辞了,家也不回,你<u>将来</u>/*<u>未来</u>怎么办? (仕事は辞める、家にも戻らない、(そんなことで)あなた将来/*未来どうするの?)
- ・这 是 我 的 车。(これは私の車です。)これ ~である 私 の 車
- 那 是 她 的 车。(あれは彼女の車です。)あれ ~である 彼女 の 車
- ~に向かって 後ろ 下がる 数歩
 - ・往 前 走 ! (前に進みなさい!)

~に向かって 前 移動する

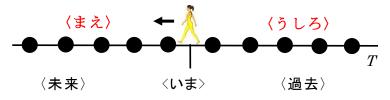
・我 家 离 车站 很 近。(私の家は駅から近い。)わたし家 ~から 駅 とても 近い

3.1.2 Clark 1973: "moving ego metaphor" vs. "moving time metaphor"

... Time can be viewed as a highway consisting of a succession of discrete events. We humans are seen in one of two ways with respect to this highway: either (1) we are moving along it, with future time ahead of us and the past behind us; or (2) the highway is moving past us from front to back. These two metaphors might be called the moving ego and moving time metaphors, respectively.... for moving ego, the equations are $\underline{front} = \text{`future'}$ and $\underline{back} = \text{`past'}$, whereas \underline{for} moving time, the equations are $\underline{front} = \text{`past'}$ and $\underline{back} = \text{`future'}$.

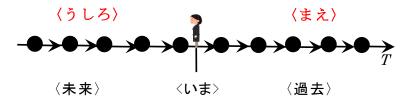
(Moore 1973: 28-64)

[moving ego metaphor]



◎ ■はイベントを表す

[moving time metaphor]



(10) 目前,我国有近70%的高等学校建立了校园网, …

(現在、わが国では7割近くの高校において校内ネットワークが構築されており、……)

(11) 我国目前正处于由计划经济向市场经济的转轨时期。

(わが国は、<u>いま</u>まさに計画経済から市場経済への転換期にあります。)

3.1.3 Núñez and Sweetser 2006

I Dynamic models appear to be quasi-universal cross-culturally, as does the generalization that in ego-reference-point models, FUTURE IS IN FRONT OF EGO and PAST IS IN BACK OF EGO. The Aymara language instead has a major static model of time wherein FUTURE IS BEHIND EGO and PAST IS IN FRONT OF EGO.

(Núñez and Sweetser 2006:1)

マイマラ語(Aymara): an Amerindian language spoken in the Andean highlands of western Bolivia, southeastern Peru, and northern Chile. (Núñez and Sweetser 2006:2)

- II. Temporal uses of nayra
 - (1) nayra mara ("last year")
 eye/sight/front year
 - (2) ancha nayra pacha -na ("a long time ago") a lot eye/sight/front time in/on/at
 - (3) nayra pacha ("past time")
 eye/sight/front time

(Núñez and Sweetser 2006:15)

- III. Temporal uses of qhipa
 - (4) *qhipa uru* ("a future day") back/behind day
 - (5) aka-ta qhipa uru ("from now on") this from back/behind day
 - (6) qhipa mara -na ("in the next [immediately future] year") back/behind year in/on/at

(Núñez and Sweetser 2006:16)

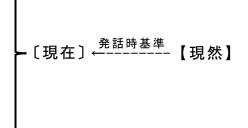
IV. Aymara speakers still gesture forward when talking about the past and backward when talking about the future.

(Núñez and Sweetser 2006:41)

V. ... PAST IS IN FRONT in Aymara because the past is known, and the area in front of the speaker is seen. This invokes the KNOWLEDGE IS VISION metaphor discussed earlier, mapping a known period of time or sequence of events onto a visually accessible physical area. ... Aymara speakers understand the future as behind them because it is unknown.

(Núñez and Sweetser 2006:15-38)

- 3.1.4 横軸系時間詞の空間メタファー: なぜ「現在・過去」が〈まえ〉、「未来」が〈後ろ〉? 3.1.4.1 〈事象〉の否定——"不"と"没(有)"
- (12) 外边儿 現在 <u>没有</u> 下 雨。 そと いま **NEG** 降る 雨 (外はいま雨は降っていない。)
- (13) 甲: 你 在 想 什么? あなた ~ている[動作の現存] 考える なに (なにを考えているの?)
 - 乙: <u>没</u> 想 什么。 NEG 考える なに (なにも考えてないよ。)



(14) 甲: 前天 下 雨 了 吗?
 おととい 降る 雨 SFP[変化の既実現] SFP[疑問]
 (おとといは雨が降りましたか?)

乙: 前天 没有 下 雨。
 おととい NEG 降る 雨
 (おとといは雨は降らなかった。)

(15) 她 昨天 没有 包 饺子。
 彼女 きのう NEG 包む ギョーザ
 (彼女はきのうギョーザを作らなかった。)

- (16) 他们 明天 <u>不</u> 上班儿。彼ら あす NEG 出勤する(彼らはあす出勤しない。)
- (17)
 后天
 他
 不
 来
 接
 你。

 あさって
 彼
 NEG
 来る
 迎える
 あなた

 (あさって彼はあなたを迎えに来ない。)
- 3.1.4.2 〈実在〉の否定と〈概念〉の否定
- (18) 大阪 **有** 很 多 桥。 大阪 ある とても 多い 橋 (大阪にはたくさんの橋がある。)
- (19) 大阪 **没有** 山。 大阪 ない 山 (大阪には山がない。)
 - ⇔"没有"の文法化

〈事物の非存在〉を意味する動詞 →〈事象の非存在〉を意味する否定副詞

▲ 〔実在〕の否定 vs.〔概念〕の否定

〈未来 (将然) 〉の〈事象〉:[概念]----→ "不"

- (20) 她 不 是 所长。【措定】 彼女 NEG ~である 所長 (彼女は所長ではない。)
- (21) 咱们 昨天 吃 的 担担面 不 太 辣。【属性】 わたしたち きのう 食べる PART 担々麺 NEG あまり 辛い (私たちが昨日食べた担々麺はあまり辛くなかった。)
- (22) 昨天 不 热, 今天 很 热。【属性】 きのう NEG 暑い きょう とても 暑い (きのうは暑くなかったが、きょうは暑い。)
- (23) 回民 不 吃 猪肉。【慣習(=属性)】 回教徒 NEG 食べる 豚肉 (回教徒は豚肉を食べない。)
- (24) 甲: 你 快 吃! あなた さっさと 食べる (さっさと食べなさい!)

乙:我 不 吃! 不 想 吃!" 【意志、欲求】 わたし NEG 食べる NEG ~したい 食べる (僕は食べない!食べたくない!)

- (25)
 我
 不
 愿意
 回国。【願望】

 わたし
 NEG
 ~したい 帰国する

 (私は国に帰りたくはない。)
- (26)这么暖和,明天 不 会 下 雪。【推測】こう暖かいあした NEG AUX[推測] 降る 雪(こう暖かいと、あしたは雪は降らないだろう。)
- (27) 你 先 吃饭, <u>回头</u> 再 谈。 あなた まず 食事をする あとで また 話し合う (まず食事をしなさい。<u>あとで</u>また話そう。)
- (28) 临走出家门时,冯军又<u>回头</u>看了妻子一眼,笑了笑。 (玄関を出るとき、馮軍はまた<u>振り返って</u>妻に目をやり、微笑んだ。)

四 【副詞】【動詞】 【時間詞】 (如今)現 在(江南) > 现在 いま 現に ある 江南 いま ([いま]現に[江南に]ある)

(『紅楼夢』第 16 回)

- 3.2 【縦軸系】について
- 3.2.1 【縦軸系】直示的時間詞一覧

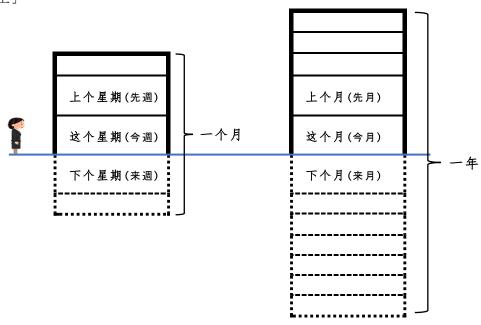
	(I)	$(\ \Pi \)$	[III]	[V]
	上个星期	上个月	上次	上个世纪
	先週	先月	前回/この前	前世紀
	这个星期	这个月	这次	这个世纪
	今週	今月	今回	今世紀
	下个星期	下个月	下次	下个世纪
	来週	来月	次回/今度	来世紀

〔主観的判断

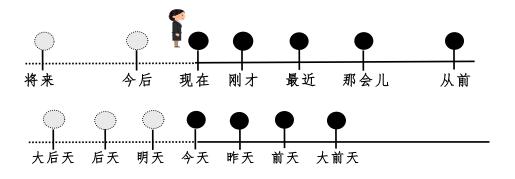
=概念〕の否定

- 3.2.2 「重箱型」と「目盛型」
- (27) 上 (一) 个 星期 (上の<u>1個の週</u> \Rightarrow 先週) 上 1 CLF[~個] 週

△「重箱型」



△「目盛型」



3.2.3 縦軸系時間詞の空間メタファー: なぜ「過去」が〈上〉、「未来」が〈下〉? ? ? ?

【参考文献】

Clark, Herbert H. (1973) Space, time, semantics and the child. In Timothy E. Moore (ed.), *Cognitive Development and Acquisition of Language*, 28-64. New York & London: Academic Press.

Núñez, Rafael E. and E. Sweetser (2006) With the Future Behind Them: Convergent Evidence from Aymara Language and Gesture in the Crosslinguistic Comparison of Spatial Construals of Time. Cognitive Science 30: 401-450.

左咏梅 2007. 「「上」と「下」のメタファーについて——日中対照研究」『大学院論文集』No.4: 47-63. 杏林大学大学院国際協力研究科.

木村英樹 2021. 「中国語時間詞の空間性――〈過去〉と〈未来〉の空間メタファー」嶋田珠巳・鍛冶広真(編) 『時間と言語』:59-74. 三省堂.

徐丹 2008. 「从认知角度看汉语的两对空间词」『中国语文』2008 年第 6 期: 504-510.